SYGN HOUSE 2026.07

ヘルメット取付資料

B+COM 7X EVO | 7X

＜取付方法は 7X EVO / 7X 共通です。本資料の写真は全て 7X EVO を使用しています。＞

SHOEI　NEOTEC 3

取付前の準備

1.　取付準備

SHOEI ヘルメット「NEOTEC 3」の B+COM 取付方法をご紹介します。

2.　B+COM の準備

B+COM1 キット分を用意します。

3.　パッド取外し

ヘルメットの左側チークパッドとイヤーパッドを取外します。

※内装の脱着に関しては、ヘルメットの取扱説明書をご参照ください。
※内装は j-force4 のものですが同様です。

スピーカーの取付

※画像は j-force4 のものですが同様の方法で進めてください。

4.　面ファスナーの貼付け

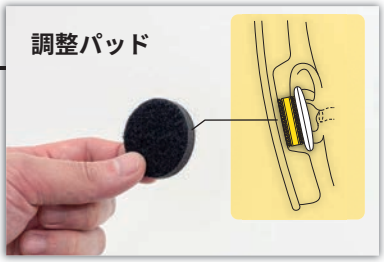
ヘルメット内の左右にあるイヤースペースへ、「スピーカー固定用面ファスナー」をそれぞれ貼付けます。

※貼付ける前に、パーツクリーナーなどで貼付箇所を脱脂してください。

5.　調整パッドの活用

耳とスピーカーの隙間を調整することで、本来の音量、音質が得られます。

※調整パッドをご使用ください。
　耳が押されて痛い場合は外してください。



6.　右側スピーカー取付け

スピーカーを取付けます。イヤースペースにそのまま合わせるのではなく、**できる限りヘルメット前方、チンストラップの根元側へ寄せる**のがコツです。

7.　スピーカー配線 1

ヘルメット後方右側のホックを外し、配線をホックの内側に通します。

8.　スピーカー配線 2

ヘルメット後方左側のホックを外し、配線をホックの内側に通します。

9.　左側スピーカー取付け

スピーカーの左耳側を取付けます。

ハイブリッドアームマイクの取付け

※画像は j-force4 のものですが
同様の方法で進めてください。

10. マイクスポンジ取付け

マイクスポンジを装着します。
※マイクスポンジは必ず取付けてご使用ください。風切り音を軽減します。
※マイク根本の突起がある面が集音面です。

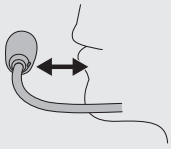
11. 貼付け位置の確認

マイク用面ファスナー、マイクを仮置きして貼付け位置を決定します。
マイクとホックが近い場合、ホックが外れやすくなる恐れがあります。

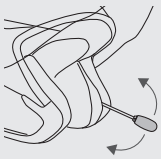
12. マイク取付け

マイク用面ファスナーを貼付け後、マイクをヘルメットに
取付けます。

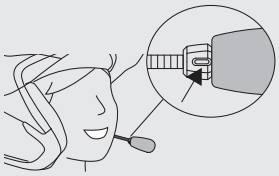
マイク取付けの
注意点



・マイクは1～2cm離れた
ところに設置



・口元に合わせる際は無理に曲げたり
引っ張ったりしないようにしてください。
落下の原因となります。



・マイクの突起を口元と
向い合わせてください。

マグネットクレードルの面ファスナー貼付け

EX1. マグネットクレードルの用意

マグネットクレードル本体、面ファスナーのフックを
用意します。

EX2. 面ファスナー大の貼付け

貼付部の角に合わせながら、面ファスナー大を貼付けます。

※貼付ける前に、貼付箇所をアルコールやパーツクリーナーなどで
脱脂します。

EX3. 面ファスナー小の貼付け

貼付部の角に合わせながら、面ファスナー小を貼付けます。

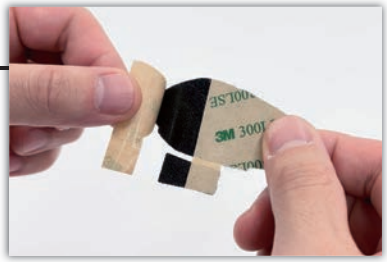
EX4. 完成

完成です。

マグネットクレードルの貼付け

13. 面ファスナーループの貼付け 1

面ファスナーのループは剥離紙が縦半分に別れます。
半分剥がしてヘルメットにつけると、大・小を正確に
貼ることができます。



14. 面ファスナーループの貼付け 2

右の画像を参考に面ファスナーのループ大・小を貼付けます。
※貼付ける前に、貼付箇所をアルコールやパーツクリーナーなどで
脱脂します。
※貼付け後、約 24 時間保管しご使用ください。

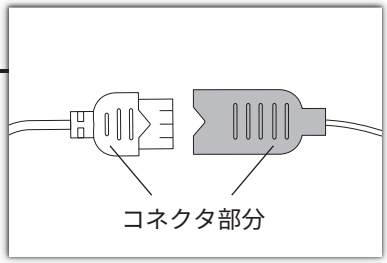
15. マグネットクレードルの取付け

マグネットクレードルを貼付けます。

配線方法

16. スピーカー、マイクコネクタの接続

コネクタの端子の凹凸の向きに注意して、
それぞれのスピーカー、マイククネクタを接続します。
※コネクタを接続する際はケーブルを引っ張らず、コネクタ部分を
持って抜き差しを行ってください。



17. チークパッド取付け 1

各配線に無理な負担がかかったり、噛み込んだりしないよう注意し、チークパッドを差込みます。

18. チークパッド取付け 2

ケーブルをホックで挟み込んだり、折れたりしないよう注意し、ホックをとめます。

本体の取付け

19. 本体ユニットの取付け

本体を取付て完成です。

※取付け後は本体とクレードルの間に隙間やがたつきがないことを確認して下さい。